【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公表番号】特表2012-525925(P2012-525925A)
【公表日】平成24年10月25日(2012.10.25)
【年通号数】公開・登録公報2012-044
【出願番号】特願2012-509890(P2012-509890)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/12　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　31/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/12
Ａ６１Ｌ　31/00　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成25年5月2日(2013.5.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
医原性軌道および血管穿刺部の処置装置であって、
付与装置、プラグおよび少なくとも第１前駆体を具備し、
前記付与装置が、前記軌道に配置されるような寸法でありかつ遠位開口部および内腔を有する遠位部と、前記内腔によって少なくとも部分的に受け入れられる、前記遠位開口部を通して前記プラグを前記内腔から押し出すプッシャとを備え、
前記プラグが、前記軌道内に配置されるように寸法が決められ、かつ前記内腔内に配置され、
前記前駆体が、前記プラグが前記内腔から追い出される前に前記軌道内に放出されるように、前記内腔の前記プラグの遠位の位置に配置され、
前記前駆体が、前記軌道内に配置された後に生理液内で溶解し、マトリックス材料を形成するか、若しくは、
前記プラグが、前記軌道内に配置されるように寸法が決められ、かつ
実質的に乾燥したコーティングが施されたコーティング部であって、前記コーティングが、前記軌道内に配置された後に生理液内で溶解し、共有結合反応により前記プラグを前記軌道および／または血管に付着させるマトリックス材料を形成する、コーティング部と、
前記プラグの多孔性部分を前記軌道内の血液に曝露させる非コーティング部であって、前記多孔性部分が前記軌道内の前記血液を少なくとも部分的に乾燥させる、非コーティング部と、
を備える、装置。
【請求項２】
前記前駆体が求電子性官能基を含み、第２前駆体が求核性官能基を含み、前記前駆体がともにポリマーである、請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記プラグがロッド、管、巻かれたシート、ねじれシートまたは編みシートを含む、請求項１に記載の装置。

【請求項４】
前記プラグの近位部が前記プラグの前記非コーティング部を含み、前記プラグの遠位部が前記プラグの前記コーティング部を含む、請求項１に記載の装置。
【請求項５】
前記コーティングが、前記非コーティング部によって分離された複数の別個の泡状物かまたは別個の縞を含む、請求項１に記載の装置。
【請求項６】
前記非コーティング部が、前記コーティングにより互いに分離された複数の不連続下位部分を含む、請求項１に記載の装置。
【請求項７】
前記コーティングの少なくとも一部に配置された剥離材料をさらに具備する、請求項１に記載の装置。
【請求項８】
前記組織に対する前記コーティングの粘着性が、前記組織から離脱する前に破損する生体材料によって試験可能であるように、前記プラグの強度を超える、請求項１に記載の装置。
【請求項９】
前記プラグが軸方向内腔をさらに備える、請求項１に記載の装置。
【請求項１０】
使用者が把持可能な近位部と、生理液の存在下で反応してマトリックスを形成する少なくとも第１前駆体がコーティングされた綿球を備える遠位部とを具備し、前記コーティングされた綿球が約５ｍｍ以下の最大径を有する、手持ち式付与装置。
【請求項１１】
前記第１前駆体が求電子性官能基を含み、求核性官能基を含む第２前駆体をさらに含み、前記前駆体がともにポリマーである、請求項１０に記載の付与装置。
【請求項１２】
付与装置であって、半径方向に膨張可能な部材に配置されたシートを具備し、前記シートが、生理液に晒されると前記シートを前記組織に付着させるように組織粘着性マトリックスを形成する１種または複数種の前駆体でコーティングされた生分解性生体材料であり、前記半径方向に膨張可能な部材が、前記シートを半径方向に膨張させ、その後、前記シートから完全に分離されるように動作可能であり、前記シートが、当該付与装置の中心軸方向ボアと同軸の開口部をさらに備え、約５ｍｍ以下の最大径を有する付与装置。
【請求項１３】
中空ワイヤと前記ワイヤを通して充填可能なバルーンとをさらに具備し、前記ワイヤおよび前記バルーンが、前記バルーンが膨張していない時に前記ボアを通過するように寸法が決められている、請求項１２に記載の付与装置。
【請求項１４】
前記中心軸方向ボアと同軸である同軸の第１マンドレルおよび第２マンドレルを具備し、前記半径方向に膨張可能な部材が、各々、第１端において前記第１マンドレルに第２端において前記第２マンドレルに取り付けられる複数の支柱を備え、互いに対する前記マンドレルの摺動により、前記支柱の前記第１端と前記第２端との間の距離が変化し、前記距離の低減により前記半径方向の膨張を達成する前記支柱の屈曲がもたらされる、請求項１２に記載の付与装置。
【請求項１５】
前記前駆体のうちの第１前駆体が求電子性官能基を含み、前記前駆体のうちの第２前駆体が求核性官能基を含み、前記前駆体がともにポリマーである、請求項１２に記載の付与装置。